

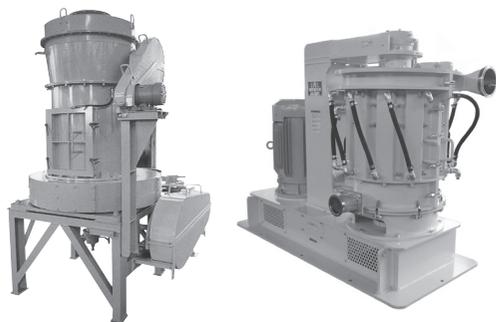
## 多様なニーズに小回り利かせる 破砕・粉砕機メーカー

株式会社増野製作所

初代・増野清香社長が、セメント製造機械の国産化を目指し、同社を設立したのが1913（大正2）年。南千住駅近くの工場の一角を借り受け、事業を始めると、日本の建築需要の高まりを背景に、増野製作所もロータリーキルンを主体とするセメント会社向けの供給で業容を拡大。さらに昭和になると石炭ガス発生炉を数多く手掛け、昭和10年〜20年の頃には、石炭ガス発生炉で国内シェア9割を誇った。戦後は、復興の苦労を重ねながらも、原料粉砕設備を軸に幅広いラインナップを持つ粉砕関連メーカーとして事業を拡大させてきた。

### ◎ 粉の未来をつなぐベストパートナー

「使う人（お客）の身になって設計を！」。初代社長の清香氏が残した「製図訓」にある言葉だ。図面に厳しかったとされる清香氏は、戦時中に設計者の心得として十訓を作成したが、訓示第二項で顧客本位の姿勢を説いている。以来、製図訓は設計室の左右の銘となり、同社の製品開発の基本姿勢として受け継がれてきた。例えば、古くから製造販売している衝撃式破砕機の「スイングハンマミル」。各種鉱石や石灰石、ガラス、焼却灰などの材料を破砕する丈夫で長持ちの代表格。最近も昭和20年代の製品修理を依頼されたというように、寿命が長く摩耗部品の交換を容易に行える。食品用途で需要が伸びているのが、気流粉砕の「ニューマイクロシクロマット」。空気の高速渦流による圧力変動で原料を高周波振動させて自己破壊させる仕組みで、茶葉や米などの食料品の微粉砕で引き合いが増えている。そのほか解砕機や分級、ふるい分けまで、原料を破砕し、粉状にする一連の工程をカ



金属の分離回収等に使用されるMSローラミル（左）と食品用途で需要が伸びているニューマイクロシクロマット（右）

### ● 社是・理念

【経営理念】 創る喜びをお客さまとともに

お客さまのご要望に真摯に向き合い、問題解決のためのソリューションを提案するとともに、更なる付加価値を生み出していただけるよう、きめ細かなサポートと心を込めたサービスを提供いたします。広く社会に貢献することこそ、わが社のミッションと位置づけ、今後も努力を重ねてまいります。



代表取締役社長  
増野 繁 氏

